

お子様の 教育資金プラン

「男の子は龍のように強く、女の子は鳳凰のように美しく」、等と親がお子様に掛ける期待や願いは全世界共通だと思います。その為、お子様達がこの激しい競争社会から抜きん出ることができるよう、外国留学させる事を熱心に検討するご両親も多くいらっしゃいます。ただ、そうなると教育費用は高く跳ね上がりますが、皆様はそこをご準備ができていらっしゃるでしょうか。

— 効率的な定期定額貯蓄プランを利用すれば、
この悩みを簡単に解決することが可能です。 —

「定期定額貯蓄プラン」とは？

貯蓄型プランに投資する際、一回での購入を選択する方法と毎月一定の金額を投資するという方法があります。「定期定額」は一定の間隔（例えば毎月）一定の金額を投資する方法です。定期定額貯蓄プランの手続きはとても簡単、投資者とそのプラン商品を取り扱う会社間で毎月決まった時期に決まった口座またはクレジットカード（もしくは別の支払い方法）から、決まった金額を支払う取り決めを行えばよいのです。定期定額という少額投資のやり方は、手元にそんな大金がないけれ



ど長期で運用したいという方に適しています。経済の景気の変化や市場の空気などを気にかける時間のない大半の方から言えば、「定期定額貯蓄」は時間と労力を省いてくれる投資方法と言え、高値掴みのリスクも回避してくれるばかりか、貯蓄、運用の両方を兼備しており、新社会人やミドル世代の退職後に向けての積立プランや、新米御両親達のお子様の教育資金プランに適しています。

お子様の為の教育資金プランを設定する際に考慮しなくては
いけない要素は以下の通りです：

変動要素(一)

教育費以外の生活支出

外国留学は、かなり高い教育費の他に海外での居住場所、様々な生活支出やその他雑費について考えなくてはなりません。教育資金プランを立てる時に必ず計算に入れなくてははいけません。

地点	現時点での支出(USD)		将来の支出予測(USD)		
	毎年の大学 学費平均	毎年の生活 支出平均	5年後	10年後	15年後
香港	5,397	-	6,567	7,989	9,721
カナダ	17,065	13,552	37,251	45,321	55,140
アメリカ	23,324	9,071	39,413	47,953	58,342
イギリス	22,605	13,563	44,004	53,538	65,137
オーストラリア	25,631	21,969	57,913	70,460	85,725

資料提供元：香港教育局(USD：HKD 1:7.8)

変動要素(二)

インフレ率

教育局がここ近年に発表した大学学費を見ると年々上がっているだけでなく、通常のインフレ率と比べても、それより高くなっています。香港を例にとると、1981年から2014年までの平均インフレ率は 4.58%となっている為、教育資金プランの設定をする際にこのインフレ率も計算に入れます。

変動要素(三)

貯蓄できる年数

お子様の教育費は親にとって重い負担となっています。これを受けて、沢山のご両親はお子様はまだ幼い頃から教育費の積立を開始されています。また、プラン設定が早いほど、長い時間報酬を得ることができるだけでなく、毎月または毎年の必要貯蓄負担額も少なくて済みます。下の表をみてもわかるとおり、積立開始が遅いほど、月額負担が重くなっています。

お子様の年齢	大学入学までの 年数	カナダ就学(USD)	
		四年間の支出予測*	毎月の必要貯蓄額#
0	18	293,643	489
5	13	256,728	808
10	8	187,643	1,284
15	3	150,000	3,590

* 毎年のインフレ率を 4.58 %と仮定
年間投資収益率を 10 %と仮定

どのようにプランを実行するか：

要点(一)

正しいツール選び

いわゆる「いい仕事をしようと思えば、まずは工具を磨け」で、資産運用も正しいツールを選択できれば、時間や労力等が半分で済みます。メティスCIの研究を重ねて開発した貯蓄型の信託プランなら柔軟性に富んだ充実した内容、しかも簡単な手続きで、お客様の運用目標を達成するお手伝いが可能です。世界経済の景気の変化に対応するため、プラン内容は随時調整しつつ、お客様が思い描く未来を実現できるお手伝いをしながら、人生の様々な段階毎のニーズを満たす事ができます。

要点(二)

長期間保有し続ける

投資で勝つ為の最大のキーポイントはポジションをどれだけ長く「保有し続ける」かであり、いつ「エントリー」するかではありません。従って途切れさせないという規律を以て長期間固定ポジションを保有し続けることが、目標達成の為の唯一の方法ですので、「定期定額＋長期投資」という投資の法則を守り、保有し続けさえすれば、定期定額の持つ長期投資することで生み出す複利効果により、目標達成までの距離をぐっと縮めることが可能です。



重要なお知らせ：

上記資料はあくまで参考情報であり、メティスCIより皆様に投資を提案したり意見を提供したりするものではありません。メティスCIは資料上にいかなる相違や遺漏においても法的責任を負いません(第三者賠償責任を含む)またその内容(これら資料の全てを指す)に相違がない事を保証するものではありません。この刊行物上に提供しております資料は、投資に対する意見提供ではありません。専門的なアドバイスをお求めの場合はお客様ご自身のファイナンシャルアドバイザーへお尋ねください。